

# 絵本でわかる



滋賀県野洲市 国史跡「永原御殿跡」紙芝居が絵本になりました。

book  
let

企画 <sup>えべ</sup>江部まちづくり委員会

絵・文 うえだ さきこ

制作 野洲市教育委員会



「お兄ちゃん、あれなに？」

「ワンワン！」

ある日、僕が妹と犬の散歩をしていたら、見たこ

とのない石碑があったんだ。なが、はら、ご・・・、

てん？って書いてある。なんのことだろう？帰ってお

母さんに聞いてみた。

「ああ、永原御殿跡の石碑のこと？昔あそこに永原

御殿っていう殿様のお宿があったんやっ。建物の

復元模型が銅鐸博物館に展示してあるらしいよ。」

そこで僕は、次の日曜日に妹と銅鐸博物館に行っ

てみた。





「ようこそ銅鐸博物館へ。こちらは永原御殿の復元模型です。説明しましょう。」

僕が大きなお屋敷の模型を眺めていると、学芸員さんが声をかけてくれた。そして、永原御殿を見に来たことを伝えると、

「永原御殿は、江戸幕府を開いた徳川家康が建てた宿所、簡単に言うとお泊りになった所です。」

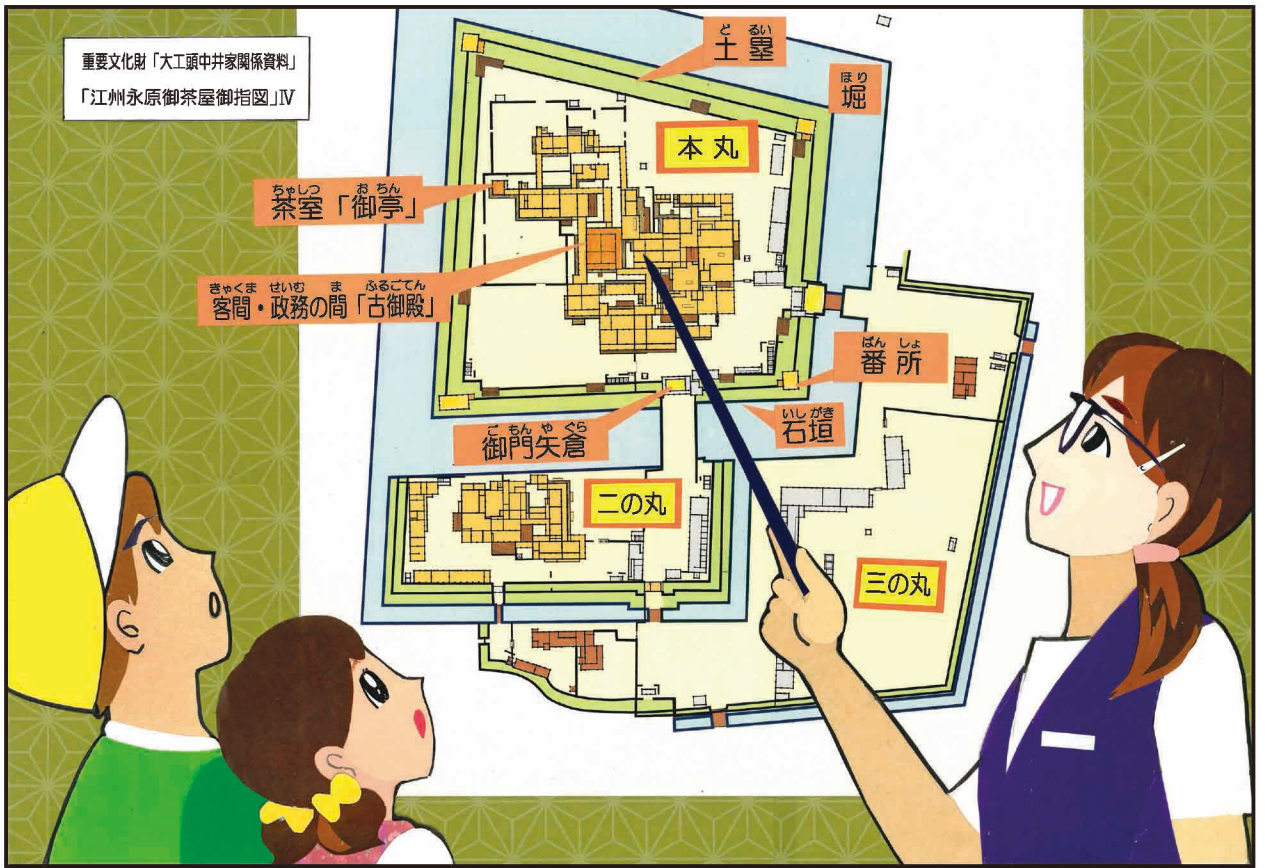
と教えてくれた。すると妹が僕に聞いてきた。

「お兄ちゃん、とくがわいえやすってだけ？」

「江戸時代の最初の将軍や。」

妹に自慢げに答えたけど、僕もそんなにエライ人が永原に来ていたことは全然知らなかったし、驚いた。学芸員さんは図面を広げて、

重要文化財「大工頭中井家関係資料」  
「江州永原御茶屋御指図」IV



ながはらごてん とくべつ とくがわしょうぐんせんようしゆくしよ ひろ  
「永原御殿は特別な徳川將軍専用の宿所で、広いお

しろ たてももの  
城のような建物だったのです。將軍が主におられた

ほんまる きやくま ちやしつ

『本丸』には客間や茶室などがあり、周りは堀や門

などで囲われていました。

さらに、さんだいしょうぐんいえみつとき

三代將軍家光の時には、三の丸まで拡大

されました。ちか ぎおうしょうがっこう おな  
近くの祇王小学校と同じくらいの広さ

ですね。たてももの ないそう たてももの  
建物の内装もとても豪華だったそうですよ。」

と、かいせつ  
解説してくれた。そして、

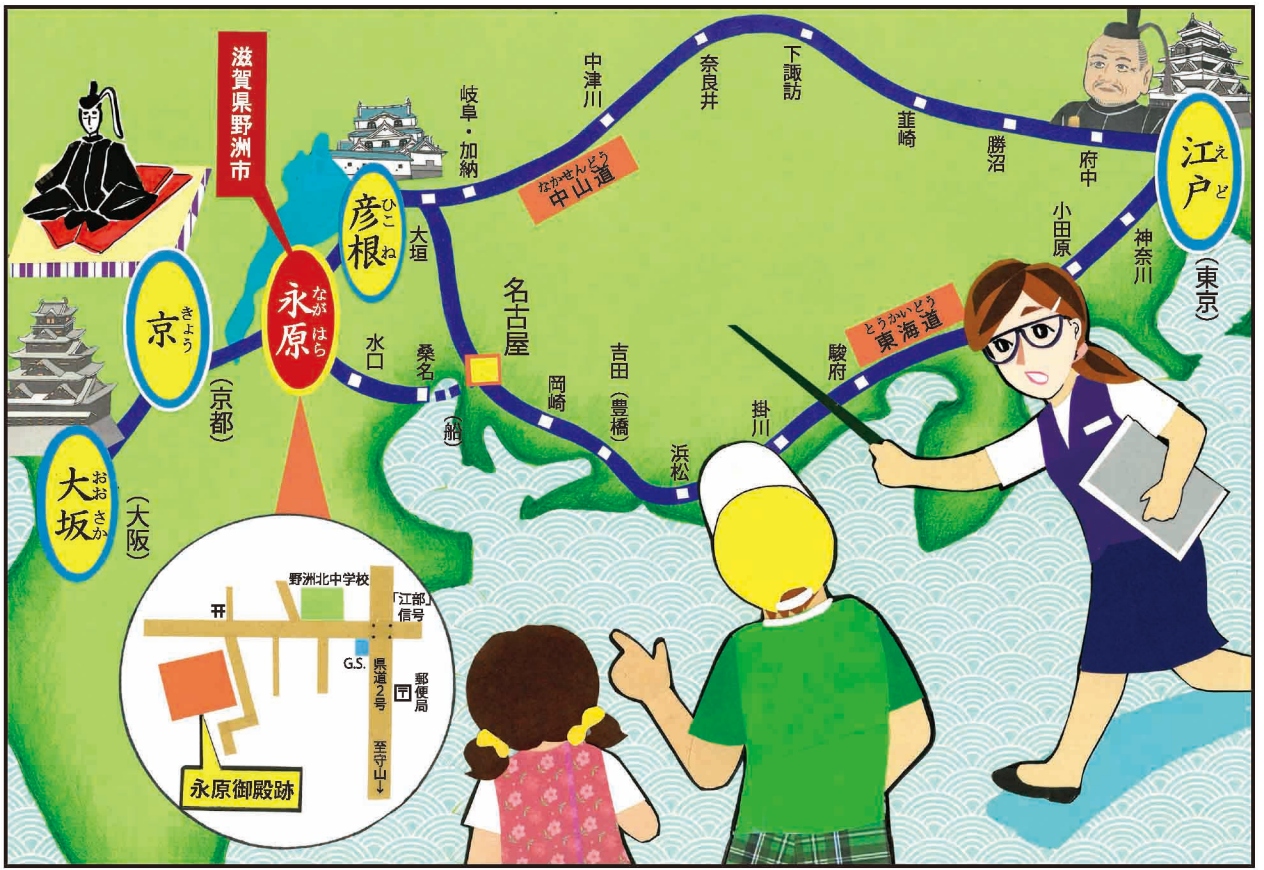
とくがわいえやす かい にだいしょうぐんひでただ かい いえみつ  
「徳川家康は6回、二代將軍秀忠は4回、家光は2

かいしゆくはく  
回宿泊しています。」

と言った。

「ふうくん、なんでそんなに何回も来たん？」





ぼくしつもん 僕が質問すると、学芸員さんは地図を示しながら

こた 答えた。

「家康は、今の東京である江戸に幕府を開きました

が、京の都におられた天皇に会いに行く必要があつ

たのです。

きよう 京に行くことを『上洛』と言います。

上洛の途中、滋賀では彦根城と永原御殿に泊まつ

たあと、京の二条城に着いたそうです。ここは京へ

の大切な場所だったのですね。」

ぼく 僕は江戸を見ながら学芸員さんに聞いた。

「昔は江戸からどうやって来たん？」



「電車も車もない時代ですから、江戸からここまで

およそひと月かけて歩きます。将軍は『輿』とい

うお殿さま専用の籠に乘ります。

道中は、役人や家来や馬まで、ものすごく大勢

でとくつても長い行列だったそうですよ。」

学芸員さんの言葉に、僕は大変だった昔の長旅や

迎える地元の人々のことを想像した。

「将軍さまが来るとなったら、地元の人でも大変やつ

たんやない?」





がくげいいん  
学芸員さんは、

「そうですね。この地域のお役人、つまり代官は、

準備から大仕事だったでしょうね。地元の人々は、

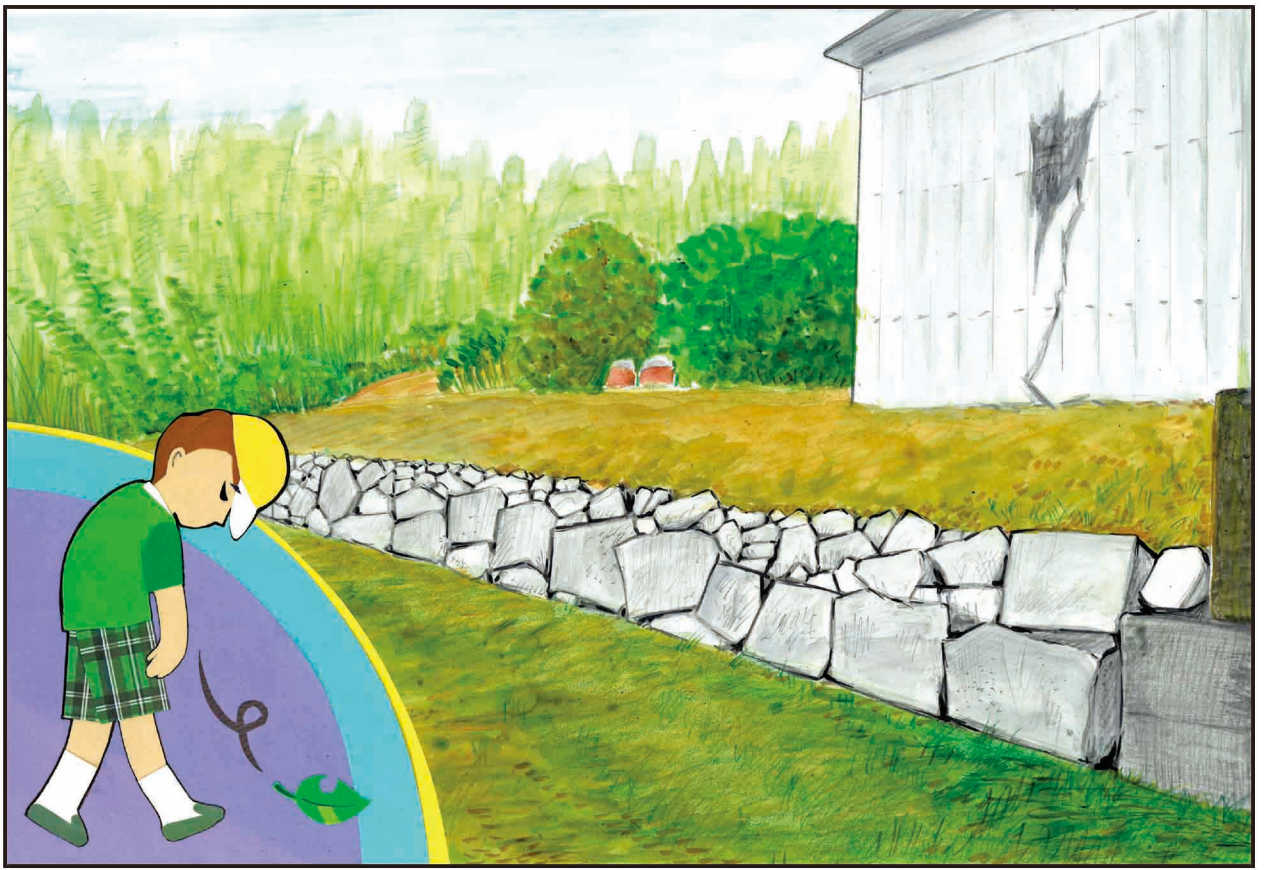
おもてなしのために旅の道をきれいにしたり、米や

野菜や琵琶湖の魚、炭などを集めて代官に差し上

げるなどしたそうです。

ふだんの御殿の管理も、代官が任されていました。」

と、当時の地元の人々とのかわりを教えてくれ  
た。



でも、おおひと多くの人が来た永原御殿はもうないのだ。

「どうしてそんな御殿が今は何も残ってないの？」

ぼく僕が聞くと、がくげいいん学芸員さんは、

「だんだん江戸が国の中心になり、しょうぐん将軍は上洛する

ひつよう必要がなくなりました。誰も来なくなった御殿は、

ついには取り壊されてしまいました。今は堀と石垣

のいちぶ一部が残るだけで・・・」

と、ちいこえ小さな声になった。

「残念やなあ。」

ぼく僕はがっかりしているのに、がくげいいん学芸員さんは急きゆうにう

れしそうな顔かおになって、

「ところが——！！





2020年3月に、国の史跡として認められました。

た！」と言った。

「発掘調査で、將軍御殿の遺跡であることが確認さ

れたからです。『礎石』という柱の土台になってい

た石が当時の図面どおりに発見され、たくさん

のほか、新たな石垣なども出てきました。」

「そうなんや！」

僕が大きな声を出すと、学芸員さんは笑顔で続け

た。

# 史跡公園完成予想図！



「そして史跡指定を受け、永原御殿跡に史跡公園が造られることになりました！」

「ほんま?! それは楽しみやなあ！」

僕もなんだかうれしくなった。

「そうですね。地元の歴史の財産として史跡を守り、

語り継いでゆきましょう。」

「はーい。」学芸員さんの言葉に、妹もうれしそう

に返事をした。

「はい。ありがとう！これから僕たちみんなで大切

にしていこうわ。」

永原御殿の歴史とこれからを学んだ僕は、心から

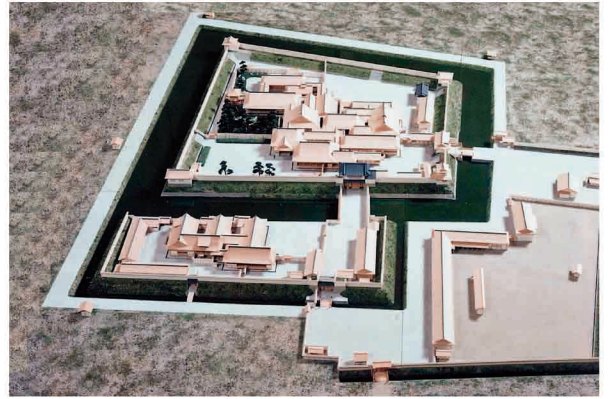
そう思った。

— おしまい —





琵琶湖側の上空から見た永原御殿跡



永原御殿復元模型(野洲市歴史民俗博物館常設展示)



本丸「御亭」発掘調査区(平成29年度調査)



本丸「南之御門」発掘調査区(令和2年度調査)

## ◆各場面の解説◆

- 2ページ…石碑は、永原御殿本丸の北東隅(土安神社側)にあります。昭和四年のものです。
- 3ページ…永原御殿の復元模型の本丸部分です。
- 4ページ…京都の大工頭中井家の指図(建築の絵図面)から起こした図面です。この指図が遺跡発掘の大きな手がかりとなりました。
- 5ページ…上洛のルートは主に中山道と東海道で、大坂の陣の際にも家康・秀忠が宿泊しています。
- 6ページ…軍勢を伴った大移動であり、将軍は溜色(深いえんじ色)の専用の輿を使用しました。
- 7ページ…将軍の宿泊には、代官の芦浦観音寺(草津市芦浦町)をはじめ、作庭で有名な小堀遠州も大きく関わっていました。
- 8ページ…御殿の建物は宝永二年(一七〇五)に解体されました。その後、跡地は永原村の「御殿守」が管理するようになりました。
- 9ページ…イラストは、本丸の「古御殿」跡の発掘調査区の様子です。
- 10ページ…予想図はイメージです。今後の取り組みや展開を見守ってください。

## ■この絵本（ブックレット）について■

この絵本の元となる紙芝居は、史跡の地元である江部まちづくり有志メンバーが、野洲市文化財保護課と協力し、企画・制作しました。内容は出来るだけ子どもにも分かる表現とし、簡潔にまとめました。永原御殿を知っていただく機会になりましたら幸いです。

ご高覧ありがとうございます。

令和4年2月 江部まちづくり委員会



ブックレット 絵本でわかる「永原御殿ってなあに？」

発行日 令和4年2月27日

編集・発行 野洲市教育委員会文化財保護課

〒520-2492 滋賀県野洲市西河原 2400 Tel.077-589-6436

印刷・製本 奥野印刷㈱